

健康一口メモ

■血管外科とは

今年1月から、公立刈田総合病院に勤務している高田秀司です。以前平成15年から平成20年まで刈田病院に勤務していました。



公立刈田総合病院 医師
高田 秀司
Syuji Takada

血管外科では、頭部、胸部以外の動脈、静脈の病気を扱います。主な病気としては、次のものがあります。

- ・閉塞性動脈硬化症 主に足への動脈が詰まったり、細くなったりして歩けなくなったり、痛みが出たりします。
- ・腹部動脈瘤 大動脈の「コブ」で、破裂すると命にかかわってきます。おなかを拍動するしこりを触れたりします。
- ・急性動脈閉塞 心臓の中にできた血の塊（血栓）が飛んで急に血管が詰まり、放っておくと、詰まった手、足、腸などが腐つ

てしまうこともあります。

- ・下肢静脈瘤 足の静脈がポコポコ膨らんで、夕方になると重苦しい、むくみなどの症状が出ます。
- ・深部静脈血栓症 エコノミークラス症候群で有名ですが、静脈の中に血の塊ができて、急に足のむくみ、痛みが出ます。この血の塊の一部が血流のつって肺の動脈がつまり（肺塞栓血栓症）、呼吸困難となり、最悪命にかかわることもあります。

このような病気など気になることがございましたら、かかりつけ医にご相談いただくか、当院外科外来にお問い合わせください。

平成26年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える方へ

70歳の誕生月の翌月から
医療費の窓口負担が**2割**になります

国保から
制度改正の
お知らせです

70歳から74歳の方の窓口負担は法律上2割となっていますが、特例措置でこれまで1割負担とされていました。平成26年度から、より公平な仕組みとするために2割負担に見直されることとなりました。

対象者

平成26年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える方
(誕生日が昭和19年4月2日以降の方)

2割となる時期

70歳の誕生月の翌月(ただし誕生日が1日の方はその月から)

なお、窓口負担には毎月の負担上限額が定められていますが、70歳から2割負担となる方は、69歳までと比べて上限額が下がります。

平成26年4月1日までに70歳の誕生日を迎えた方へ

平成26年4月以降も
医療費の窓口負担は**1割のまま**変わりません

平成26年4月以降も、引き続き特例措置の対象になります。

対象者

平成26年4月1日までに70歳の誕生日を迎えた方
(誕生日が昭和19年4月1日までの方)

なお、窓口負担には毎月の負担上限額が定められていますが、この上限額も変わりません。
(※平成26年3月2日～4月1日に70歳の誕生日を迎える方は、69歳までと比べて上限額が下がります。)

【ご注意】

一定の所得がある方は、誕生日が4月1日以前・以降にかかわらずこれまでどおり3割負担です。

詳しくは、保健福祉課(☎37-2114 担当:高橋)までお問い合わせください。

こちら診療所

所長 宮崎 武文

■インフルエンザを予防しましょう

現在インフルエンザが流行しています。こまめな手洗い、うがいや外出時のマスクの着用等感染予防策をお願いします。また、インフルエンザの症状は発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、消化器症状などですが、症状が出てすぐの場合は例えインフルエンザに感染していても検査で陰性となる場合があります。このため症状が強くない場合には半日程待ってから医療機関を受診するようにしましょう。

【整形外科外来のお知らせ】

3月14日(金)、28日(金)となりません。

【休診のお知らせ】

毎週火曜日の午後は研修のため休診とさせていただきます。
3月20日(木)の午後は都合により休診とさせていただきます。

「四年間を顧みて」



湯原 新妻 茂さん

あつという間の4年間、平成22年4月に湯原駐在所に赴任してまもなく4年になろうとしています。振り返ってみるといろんなことがありました。自動車盗難、東日本大震災、スキー場でのスキー盗難、一酸化炭素中毒事故、山岳遭難、自販機荒らし、家屋火災等事案があり交通事故も多数ありましたが、皆さんのおかげをもちましてなんとかやってまいりました。

また、地域的に春は遅いものの、山菜を美味しくいただき、夏は避暑地であり、秋は紅葉ときのこの宝庫でしたが、放射能に汚染されたのが残念で仕方ありませんでした。冬は雪の多さにびっくりで、最初の年から豪雪対策本部が設けられ雪を片付けるのが日課の一つとなり、一つの楽しみにかわっていききました。でも年々体が思うように動かなくなるのに、地域の人たちは私の親より多い年なのに除雪作業をしているのを見るにつけ負けられないと思う今日この頃です。あつという間の四年間、大変お世話になりました。ありがとうございます。

次回は櫻井晶子さん(滑津)にリレーされます。